提案書書式

2024 年 7 月 18 日

「アマチュア無線の魅力向上アイディア」提案書

1. 提案者 ・氏名(グループの場合は代表者):
・年齢:
2. コールサイン(局免許保有者の場合):
・連絡先 住 所:
メール:
・(グループの場合)代表者以外の構成員の氏名・年齢: ―

3. 提案カテゴリー(AまたはBを選択)
A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイディア

~~B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイディア~~

3. アイディア名:
交信支援アプリ

4. アイディアの概要(200 字以内):
交信相手が見つからないという悩みの改善を狙うアイディアです。交信したいと思ったときに, その方(局)がアプリにコールサインを登録し, 交信できそうな方(局)がいそうかどうかを調べるアプリです。マッチングアプリのような精度は到底望めませんが, 市町村, 周波数(帯), 電波モードを登録すれば目安程度で候補局のリストアップができると思います。多くの局が使うようになればアプリのエンハンスも可能になります

5. 詳細説明(図表を含めて4頁以内):
【狙い】
交信相手が見つからないという悩みの改善を狙うアイディアです。アプリで交信できそうな局がいる時にワッチしたり, CQ を出せば交信できる可能性が高くなりますし, アプリに候補局がいない時は交信できなくても諦めがつきやすくて気分的に楽になれると思います。
特定の局や市区町村がアプリを登録されれば通知したり, 他のアプリや Web サイトなどと連携するエンハンスができればより使い方が拡がると思います

【システムの仕組み】
システムに詳しくありませんので具体的な提案ができません。イメージはスマホ・パソコンのアプリとサーバサイドの組み合わせです。アプリは課金を考えると, スマホやパソコンのアプリサイトからダウンロードしてもらう方法と思います。

【使い方・動作イメージ】

（a）最初：
　アプリをダウンロードしてインストールし，コールサインと常置場所（市区町村），空中線電力（複数送信機登録可）を登録（総務省の HP から収集可能かもしれません）
　→ サーバサイドにも登録される
（b）交信したい時：
　アプリを起動
　→ アプリに希望の周波数帯と運用モード（ワッチ/CQ/両方），候補局の表示モードを入力（絞り込みたい時はさらに電波モード，相手地域などを入力）
　→ サーバサイドに入力情報が転送されデータベースに登録
　→ 指示された表示方法の候補局をデータベースで検索して返送
　（一定周期で候補局をアップデート）
　→ 返送された候補局を表示モードに合わせてアプリで表示
（c）局の運用終了：
　アプリを終了
　→ サーバサイド側にも終了が通知され，登録情報をデータベースから削除
（d）情報提供（自局が交信した局や受信した局のコールサインを参考情報として登録）：
　アプリを起動
　→ アプリに「情報提供」として交信/受信した局のコールサインや周波数帯，電波モードなどの情報を入力
　→ サーバサイドに入力情報が転送され，参考情報としてデータベースに登録
　（参考情報は「（b）より確度が低い情報」として検索時に利用する）
　→ 登録された参考情報は一定時間後（例えば 1 時間）にデータベースから削除

【表示モード】
　例えば以下のようないくつかの表示モードを用意して選択する。
　・安定交信モード：交信可能性の高い局をサーバサイドで選んでそれを表示（初心者向け）
　・リストモード：アプリ起動局全局から指定条件に合う局をすべてリスト表示
　・地域モード：地域（地方/県/市区町村）を指定し，その地域のアプリ起動局数を表示
　→ さらに詳細地域に絞り込むか，その地域の全アプリ起動局をリスト表示
　（地域モードは地図表示を活用してビジュアルな操作がしたい）
　・上記（d）の参考情報として登録された局は上記（b）で登録された局より確度が低い情報であることが分かるように表示

【課金】
　システムの開発・運営を考えると無料は難しいと思いますが負担が少ない額にする。追加コールサインは割引。例えば 100 円/月（追加コールサインは 50 円/月）程度くらいは許される範囲かなと思います。
　もしアプリを交信として起動している時間で課金可能なら従量課金案もあるかもしれません。例えば数円/h 程度

【セキュリティ対策】
　悪意の登録を防ぐための何かの工夫がいると思います。例えば，最初のアプリインストール時に局免許状も登録して，運営側で確認する仕掛けにするなどでしょうか

【プロモーション】
　普及のためにはいろいろなプロモーションがいると思います。例えば以下などでしょうか
・開始から一定期間（例えば１年間）課金無償
・新規加入やお友達紹介で一定期間課金無償
・ベンダ，イベント，SNS などでのプロモーション
・記念局など交信希望の多い局は運営側で登録
・ボランティアで多くのβテスタに参加してもらいそのまま正規版に移行してもらう

【検討課題】
・開発，運営事業者の開拓（開発はボランティアのチームが編成できるとうれしい）
・ビジネス性の検討

6. 参考情報（任意）
　特にありません